

おろし うり し じょう
卸売市場へ
ようこそ!

この黒板は、せりの現場で使われています。

どこで出会えるかは

市場に行きからの楽しみ…!

たかまつし ちゅうおうおろしうりし じょう
高松市中央卸売市場

1. 高松市中央卸売市場とは

やくわり 役割

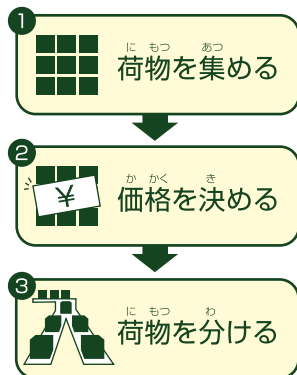
高松市中央卸売市場は、卸売市場法にもとづき昭和42年に、全国25番目の市場として誕生しました。生鮮食料品や花は一般の商品と違って、鮮度が低下しやすく貯蔵しにくいいため、生産量によって値段が大きく変動しがちです。卸売市場は、これら生鮮食料品等について、生産者に販売の場を提供し、流通・小売業者に安定した取引の場を提供し、そして私たち消費者に速やかに品物を届けるという役割を持っています。



市場は、私たち消費者の生活の安定と同時に生産者・取扱業者の経営を安定させる役割を果たしているのですね。

はたらき 働き

高松市中央卸売市場は、わたしたちが毎日食べる野菜や果物、魚などの生鮮食料品をはじめ花などを、衛生的かつ能率的に、適正な値段で卸売するところ。毎日毎日、一日中休まずに、たくさんのいろいろな品物を集め、値段を決め、必要なところへ分けるはたらきを持っています。



市場は、品物をつくる「生産者」と、品物を買うわたしたち「消費者」を結び大切な働きがあるのですね。

とくちょう 特長

香川県は日本一面積が小さい県ですが、穏やかな気候のおかげで多種多様の農作物が育ちます。

また、天然の養殖場と呼ばれる瀬戸内海からも、豊富な水産物が水揚げされます。高松市中央卸売市場に入荷される地元産の生鮮食料品等は、年間を通じて約3割を占めます。香川県は面積が狭いので、品物の流通が非常に速く、常に新鮮なものを手に入られるというメリットもあります。香川県が「日本一豊かな土地」とも言われる理由は、ここにあるのです。



こうした豊かな土地・香川県の品物を束ね流通させる「心臓」のような役割を果たしているのが、高松市中央卸売市場なのです。

おろし うり し じょう これが、卸売市場のしくみだ!

2. 市場の一日

高松市中央卸売市場の一日は、真夜中にスタートします!



高松市中央卸売市場

野菜や果物のせりは小さい黒板を使い、魚や花は手のサインを使って値段を決めていくんだよ!

1 入荷

深夜2時

品物が運びこまれる

真夜中から早朝にかけて、品物が全国各地や香川県内から運び込まれます。

2 配列

早朝4時

きれいに並べる

運び込まれた品物は、品目別、種類別に卸売場にきれいに並べられます。

3 下見

朝5時

下調べする

買手たちが、その日の品物の量や質を徹底的に下調べし仕入値を見極めます。

4 価格の決定

朝6時

せりで価格を決める

朝5時半から10時頃まで、活気ある「せり声」とともに、卸売業者と買手(仲卸業者・売買参加者)との間で「せり」が始まります。そして、一番高い値段をつけた買手に品物が売られます(せり落とし)。

5 分荷・販売

朝8時

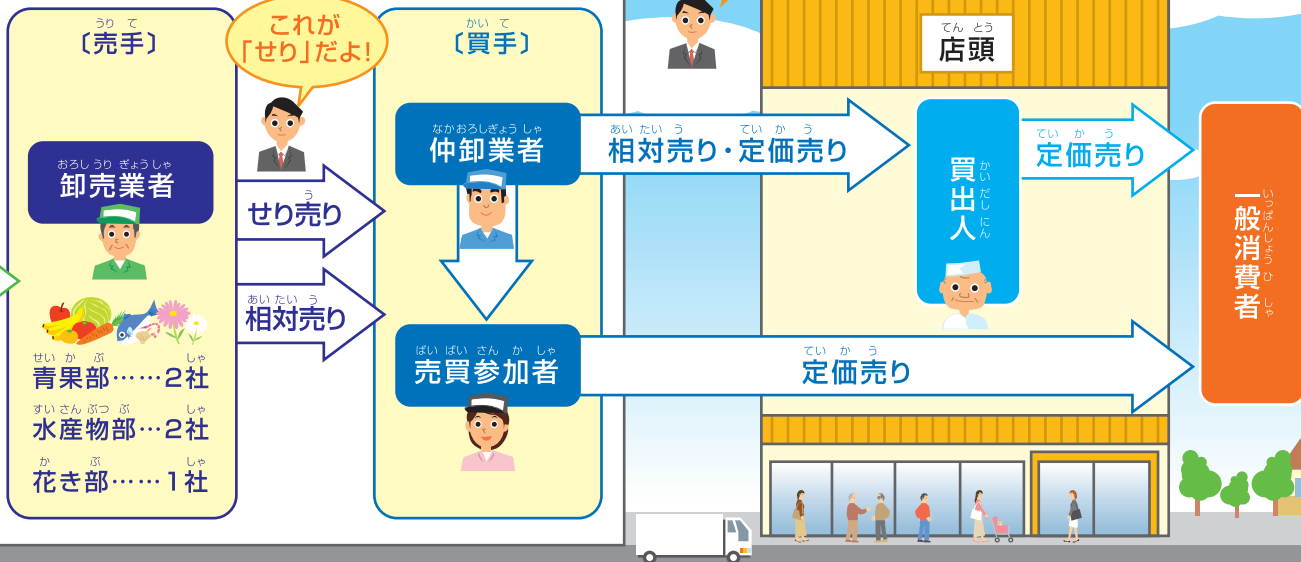
品物、販売へ

せり落とされた品物は素早く買手に引き取られ、お店や屋さんに運ばれていきます。

3. 生鮮食料品の「流通」のしくみ

生鮮食料品等は、こうやって消費者にわたるのです!

高松市中央卸売市場



相対売りとは、売手と買手が話し合いで値段を決める取引の方法です。

これが「せり」だよ!

4. 市場ではたらく人たち

ここでは一日およそ2,000人の人たちがはたらいしています！

市場開設者



この中央卸売市場をつくった「高松市」のこと。正しい取引が行われるよう、指導・監督・建物管理などをします。

卸売業者



生産者から頼まれて預かった品物を「せり」にかけ、値段を決めて仲卸業者や売買参加者に売る人のことです。

仲卸業者



卸売業者からたくさん品物を仕入れる人のこと。仕入れた品物は、市場内のお店で仕分けて売買参加者や買出人に売ります。

売買参加者



卸売業者の行うせりに参加して、仕入れた品物を街で売るお店（魚屋・八百屋・果物屋・花屋・スーパーマーケットなど）のことで

関連事業者



市場利用者が市場を便利に使えることを目的とした、市場内のお店（飲食店・食料品店・雑貨店・銀行など）のことで

買出人



仲卸業者から必要な品物を仕入れる、市場外のお店（街の小売店・食堂・料理屋・加工業者など）をして

中央卸売市場への
みなさんのご質問に
お答えします！



Q 市場で働く人は何時に起きるの？

A 早い人は朝の2時ごろに起きて出勤できます。また、真夜中でも品物を管理するために働いている人もいますよ。

Q 一日どれくらいの金額が取引されるの？

A 水産物部、青果部でそれぞれ約6千万円、花き部で約1千万円の品物が取引されています。

Q 一日、何種類の品物が取引されるの？

A 月により多少変化しますが、おおよそ野菜で120品目、果物100品目、水産物200品目、花150品目が取引されています。



市場のご案内

徒歩
JR高松駅……約1.5km
JR昭和町駅……約0.5km

タクシー
JR高松駅……約5分

バス
JR高松駅から
「市民病院ループバス」
(西廻り)または
「運転免許センター線」
乗車約7分

コデン瓦町駅から
「市民病院ループバス」
(西廻り・東廻り)
乗車約25分

バス停「中央卸売市場前」下車すぐ

